

岩宿遺跡(みどり市)

ここは岩宿遺跡



ここから地層観察ドーム、岩宿博物館へと向かう



こちらは琴平山



ここが岩宿ドーム(B地点)/地層観察ドーム



内部は遺構保護観察施設となっている



振り返ると史跡岩宿遺跡(A地点)/説明板や石碑が立ち並ぶ



土器を使っていた縄文時代(世界史では新石器時代にあたる)の人々が日本の最初の住人だと考えていた考古学・日本史の常識を覆し、日本にも世界史でいう旧石器時代段階に人々が生活していたことをはじめて明らかにしたのが、岩宿遺跡発見の重要性



国指定史跡



これは岩宿遺跡の発見者、相澤忠洋の胸像





ここから岩宿博物館へ向かう



これはA地点(道路左手)、B地点(道路右手)を見たところで、左手は稲荷山、右手は琴平山



ここが岩宿博物館





博物館の建物の後方に見えるのが琴平山



岩宿博物館周辺案内図



これは江戸時代前期に、この地の灌漑事業に貢献した岡上景能の銅像





業績略記



岡上大師長者宗能公業績略記

岡上大師長者宗能公は、大和國葛城郡岡上村に生れ、幼少より、父の業を承継し、大和國の諸郡に遊學せり。其の學問は、經史子集、無所不精。尤も、佛經の義理、尤も深く究め、其の學問は、大和國の諸郡に傳はり、人々を化導せり。公は、大和國の諸郡に遊學せり。其の學問は、經史子集、無所不精。尤も、佛經の義理、尤も深く究め、其の學問は、大和國の諸郡に傳はり、人々を化導せり。公は、大和國の諸郡に遊學せり。其の學問は、經史子集、無所不精。尤も、佛經の義理、尤も深く究め、其の學問は、大和國の諸郡に傳はり、人々を化導せり。

享和元年三月五日 岡上村長者宗能公遺族會誌

参考ホームページ

<http://www.city.midori.gunma.jp/www/contents/1000000000589/>

<http://inoues.net/ruins/iwaiyuku.html>

<http://palaeolithic.jp/sites/iwajuku/index.htm>

<http://www.gunmaibun.org/remain/guide/tomo/iwaiyuku.html>

<http://bunka.nii.ac.jp/SearchDetail.do?heritageId=204963>

